

選手・応援生徒・保護者・外部コーチ等

大会参加者はお読みください。

競技上の注意

現行の日本卓球ルールを参考にする。

- 1 試合球は日本卓球協会指定のプラスチックホワイト球（ニッタク）を使用する。
- 2 サーブ警告は1回とし、2回目以降は失点とする。
- 3 1マッチ、11点5ゲームとして、ゲーム間の休憩は1分とする。
- 4 抗議権は個人戦では選手個人のみ、団体戦では監督（不在の時は主将）にある。
- 5 団体戦の監督は男女兼任でもよい。同時進行の場合は、他方への行き来を認める。
- 6 ラケットはJTAA、ラバーはJTAAまたはITTFの入ったものを使用する。
- 7 個人戦でのコーチについて、2か所以上で同時に試合が行われた場合は、片方を空席にしてベンチ間に行き来することができる。ただし、1マッチ（試合）で複数のコーチが交代でつくことはできない。登録されたコーチは、その学校のどの選手のベンチにも入れる。団体と個人が同時に行われているとき、コーチは団体の試合を一度離れたら戻ることにはできない。
- 8 競技者への助言はゲーム間の休息時間のみとする。
- 9 促進ルールの時間は通して計測する。（1ゲーム10分30秒経過時に促進ルールを適用する。ただし、互いの得点合計18点以上では適用しない。）
- 10 団体戦は、2台進行で行う。（タイムテーブル参照）。ただし、タイムテーブルから1時間以上遅れている場合、3台進行や5台進行を検討し、実施することがある。
- 11 監督、コーチは記章をつける。
- 12 試合開始時、試合終了時の監督の握手は省略する。
- 13 ラバーの張り替えは決められた場所のみとする。
- 14 タイムアウトは、団体戦は準決勝から、個人戦はベスト8決定戦から適用する。
- 15 県中体連で示している「山形県中学校体育連盟主催大会（総体・駅伝・新人）災害緊急時対応要項」「県中体連主催事業実施における新型コロナウイルス感染症及びその他の流行性感染症拡大防止に関する推奨事項について」「熱中症予防行動の留意点について」を踏まえて競技を行う。
- 16 本大会では試合の進め方は以下のようにする。
 - （1）両選手・審判ともに消毒は適宜行う。
 - （2）ラケット交換は行わず、審判に見せたあと、互いに見せ合う。握手は行わない。
 - （3）じゃんけんをして、サーブ、レシーブ、エンドを決める。
 - （4）チェンジエンドは行う。
 - （5）1分間の試合前の練習を行う。
 - （6）試合終了後も握手は行わない。試合の記録用紙へサインする。
- 17 ラケットについて不安な選手は事前に審判長から確認を受ける。
- 18 試合中に不測の事態（体調不良など）が起きた場合は、すぐに審判に申し出ること。申し出があった時点で審判は本部に報告する。

審判及び試合の進め方

1 個人戦について（基本的に1名での敗者審判）

【対戦する選手の動き】（試合前）

- ・タイムテーブルの一巡目のみ直接コートに入るが、2巡目以降は放送の指示で選手集合所に集まってから、コートに移動する。

【審判の動き】

- ・選手がコートに入ったら「選手本人であるか（氏名、所属等）」、「ラケットの状態」を確認する。ラケットの状態がひどいものは、ラケットを審判長に提出し見てもらい確認をする。
- ・じゃんけんをさせて、サーブ・レシーブ・エンドを決めたのち、選手同士でのラケット確認をさせる。
- ・選手が練習を始めたら、ストップウォッチで1分を計測する。
- ・1分が経過したら、「第1ゲームラブオール」のコールをして、カウンターを0-0にし、試合を進める。
- ・ゲームスタートとともに、ストップウォッチで時間を計測する。
(もし、1ゲームが10分30秒かかっても終了しない場合には、審判長に連絡をする。)
- ・両者のポイントの合計が6の倍数の時、カウンターを周囲の人に見せ、戻す。
- ・1ゲームごとに、対戦票に得点を記入する。
- ・ゲーム間の休憩1分を計測する。1分後「時間です」と声をかけ、戻らない場合は、早く来るように声掛けする。
- ・2ゲーム以降も同様に行う。時間はゲームごとに計測する。
- ・試合が終了したら、選手に挨拶をするよう促す（互いに握手をせずに挨拶のみを行う）。対戦票を選手に確認してもらい、サインをもらう。
- ・対戦票を勝った選手に渡し、本部に報告するように伝える。

【対戦した選手の動き】（試合後）

- ・勝った選手は対戦票を持って本部に結果を報告する。
- ・負けた選手はコートに待機し、次の試合の審判を行う。

- 審判は、入ったか入っていないかよく見て、自信をもって手を挙げジャッジすること。
特にサーブのときのネットインかどうかはしっかり見て判断すること。
- 審判は、ゲーム間にコートを離れないようにし、公平な判断ができるようにすること。
- 試合をしている選手が体調不良やけがなどで試合続行が難しいと判断した場合は、本部に報告し、指示を受けること。

2 団体戦について（基本的に対戦校同士での相互審判）

- ・番号の小さい学校の主将が本部に対戦票を取りに行く。
- ・番号の小さい学校の主将が対戦校を読み上げる。オーダーは読み上げない。
「これから〇〇中 対 △△中の試合を始めます」とだけ言う。

※1番、2番、4番、5番のシングルスは1人審判。3番ダブルスは2人審判

（2台もしくは3台進行の場合）

- ・主将がじゃんけんをし、勝った中学校が「1番・3番・5番」の主審をし、負けた中学校が「2番・4番」の試合の主審と「3番」の副審を行う。

（5台進行の場合）

- ・主将がじゃんけんをし、勝った中学校が「1番・5番」の主審をし、負けた中学校が「2番・4番」の試合の主審を行う。「3番」は、大会本部より指示を出す。

【相互審判での主審・副審の動き】

- ・コート番号の早いほうに、早い番号の試合を入れる。
- ・副審は、ストップウォッチでの時間の計測とカウンターの操作を行う。審判が主審のみの場合は、副審の役割も主審が行う。
- ・審判（ダブルスでは副審）はストップウォッチをもって、カウンターのほうに移動する。
- ・選手がコートに入ったら、審判は本人であるかの確認と、ラケットの確認をする。（破損がひどいものは、審判長まで持って行って確認する。）
- ・じゃんけんをさせて、選手同士でのラケット確認をさせる。
- ・選手が練習を始めたら、ストップウォッチで1分を計測する。1分が経過したら練習を止めさせる。
- ・「第1ゲームラブオール」のコールをし、試合を進める。カウンターを0-0にする。
- ・ゲームスタートとともに、ストップウォッチで時間を計測する。
（もし、1ゲームが10分30秒かかっても終了しない場合には、審判長に連絡をする。）
- ・両者のポイントの合計が6の倍数の時、カウンターを周囲の人に見せ、戻す。
- ・1ゲームごとに、対戦票に得点を記入する。
- ・ゲーム間の休憩1分を計測する。1分後「時間です」と声をかけ、戻らない場合は、早く来るように声掛けする。
- ・2ゲーム以降も同様に行う。時間はゲームごとに計測する。
- ・試合が終了したら、挨拶をするよう促す（互いに握手をせずに挨拶のみを行う）。対戦票を選手に確認してもらう。
- ・団体戦の勝敗がいたら、選手を整列させる。
- ・審判のうち1名は、「3-0で△△中の勝ちです」と言う。
- ・審判のうち1名は、両方の監督に対戦結果を確認し、サインをもらう。

【団体後の動き】

- ・勝ったチームの主将は、対戦票を持って本部に行く。審判長に対戦票を提出する。

○審判は、入ったか入っていないかよく見て、自信をもって手を挙げジャッジすること。
特に以下のことに気を付けてください。

- ・サーブのときのネットインかどうかの判断
（ネットインだった場合は、審判のどちらかがラリーを止めてください。）
- ・ダブルスのサーブがセンターラインを越えていないかの判断

○審判は、ゲーム間にコートを離れないようにし、公平な判断ができるようにすること。

○試合をしている選手が体調不良やけがなどで試合続行が難しいと判断した場合は、本部に報告し、指示を受けること。

会場使用上の注意

* 自校の選手・保護者・コーチへの周知徹底をお願いいたします。みなさんのご理解とご協力をお願い致します。

- (1) 山形市総合スポーツセンターの第1体育館アリーナ、第2体育館は土足厳禁です。内履きを持参して下さい。下足用のビニール袋を各自準備し、各自で管理をお願いします。
- (2) 観覧席の利用については地区ごとの割り振りをしていますので、その場所をご利用ください。なお、アリーナ側の手前4列は応援用の座席とし、荷物等は5列以降に置いてください。
- (3) 飲食については、観覧席でとってください。利用にあたっては、体育館に迷惑をかけないようにお願いします。また、アリーナ内では、水筒、ふた付きのドリンクの水分補給のみ許可します。特に昼食の時間は設けません。試合の進行状況をみながら各自（各学校）で対応してください。
- (4) ゴミはすべて持ち帰ってください。近隣のコンビニエンスストアなどへの持ち込みもご遠慮ください。
- (5) 万が一、地震が発生した場合は、揺れがおさまるまで卓球台やイスの下に隠れるなどし、その場で待機してください。揺れがひどい場合には、誘導にしたがって避難していただきます。
- (6) 会場内のコンセントを、ビデオや携帯電話等の電源に使用しないでください。
- (7) アリーナには選手、試合時のアドバイザー、審判、役員以外の方は入らないようにしてください。
- (8) トイレなど、会場使用に際してはマナーを守って使用し、破損することのないようにお願いします。
- (9) 試合会場でのフラッシュ撮影は禁止です。
- (10) 貴重品の管理は各校、各個人で行ってください。忘れ物がないか、会場を出るときには必ずご確認ください。
- (11) 救護場所は、第三会議室になります。
- (12) 会場の山形市総合スポーツセンターは全館貸し切りではないため、一般の利用者もいます。会場内の「立ち入り禁止場所」への立ち入りをしないように、ご協力をお願いします。また、「締め切り」の箇所は開けないようにしてください。